

## 千葉中央の思い出

私が入部して6年ついにこの日がきました。

最初は色々なコーチに基礎や基本を教わりました。

この頃は全国大会など何の事だかさっぱり分からず目標無しにバレーをやっていました  
練習はあまり休まず行っていたけど、ふざけてる事も有りました。

合宿は家族と離れるのが最初は嫌だったけど皆と合宿をしていたら楽しく今でも忘れられない思い出です。

初めて試合に出たのは2年の5月位で君津ヒヨコと練習試合でした午前中は出れなくて午後からはライトに入り初めてスパイクを打ちました。

この試合でフローターサーブも入ってとても嬉しかったのを覚えています。

その時から試合の楽しさ分り徐々に試合が好きになってきました。

3年生の時は同じ学年が私1人になってしまい、あまり意識はしていませんでしたが人数を集めなきゃ行けなと思い始めました。

そして4年生になってミホが入部して、智夏が戻ってきました。

5年生になってミナやノゾミに続き結局8人いたけれど色々な事情で3人辞め5人になったけど5年の1月にミキが入部してくれました。

新人戦はアヤノとナツキを含め戦いました。一番最初に飯山満南とやりましたが全員が一生懸命戦ったんだけどその懸命差はまだまだ足りないという事が実感されました。そして私達は夏の全国大会へ出れるように日々毎日の練習と毎週土日の遠征を積み重ねついに6月の全国大会を迎えました。予選は順調に勝ち進みました。

ついに決勝トーナメントの日が来てベスト8では新人戦優勝の満山南と勝負する事になりました。

1セット目は落としましたけれど新人戦の時の悔しさを思いだし2セット目3セット目は自分達のバレーをやりきり満山南に勝つ事ができました。

ベスト4では仲が良い鎌ヶ谷中部と対戦する事になりました。

この試合も1回戦の波に乗りストレート勝ちする事ができました、そして全国への切符を後1戦を全力を出し切り思いきったバレーをしました

そして優勝全国大会に行く夢は叶いました。

他の県でも仲の良いチームが全国大会に出られてとても嬉しかったです。

優勝した直後は嬉しさはあまり感じられませんが日がたつごとにそのうれしさが分かってきました。

全国大会へ向けて保護者の方々が色々な事をしてくれたり指導者の方々がここまで育ててくれて本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

千葉県代表として恥のない様なプレーを心がけようと私は頑張ってきました。

全国大会では悔いも残った所も有るけれど、とっても楽しかったです。その中でも選手村に泊まった事や遠い県の人達と友達になった事は私の一番の思い出です。

全国大会を振り返ってみたら私達に足りなかったものはチームワークでした。

私達はチームワークを大切にして、関東大会優勝を目指し頑張ってきました。関東大会予選では、最初から決勝戦から決勝まで全てストレート勝ちで千葉県の代表として関東大会に出場する事ができました。

関東大会では他県のチームとの交流を深めながら試合にも気合いを入れえ来ました。

1日目は全勝する事ができました。2日目は全国大会でも優勝候補だったサンダースとベスト8であたる事になりました。練習試合でも戦ったことはあるけど1回も勝った事がないチームでした。レギュラーが160cm以上と言う高い壁に私は挑みました。

試合は2-1で負けてしまったけれど1セット取れた事には少しビックリしました。

次の大会では必ず勝つと思い練習を頑張ってきました

五大会の最後、少全国で一戦一戦を大切に戦い優勝する事が出来ました。

優勝カップとボールは今まで私達を裏で精一杯ささえてくれたミキと望が受け取ってくれました。

3月11日の地震により三重県の全国大会は無くなってしまいました色々な大会で優勝を勝ち取れてうれしかったです。

保護者の方々にいつも私達に面倒を見てくださって有り難うございました。

準レギの皆が私達が辛い時や試合の時にいつも支えてくれて有り難うございました。

そして指導者の方々には私をここまで育ててくれて有り難うございました。

私は、この日を向かえ感謝の気持ちで一杯いです。

6年間本当に有り難うございました。